



どうして

予防注射をするの？

め み くうき なか
目には見えないけれど 空気の中には
ばい菌が いっぱいです。



いき す とき
息を吸う時には

きん からだ なか はい
ばい菌も 体の中に入ってきています。



げんき とき からだ
ボクが元気な時は、ボクの体は

からだ なか はい きん たたか
体の中に入ってきた ばい菌と戦って



きん
ばい菌を
ノックアウトしています。

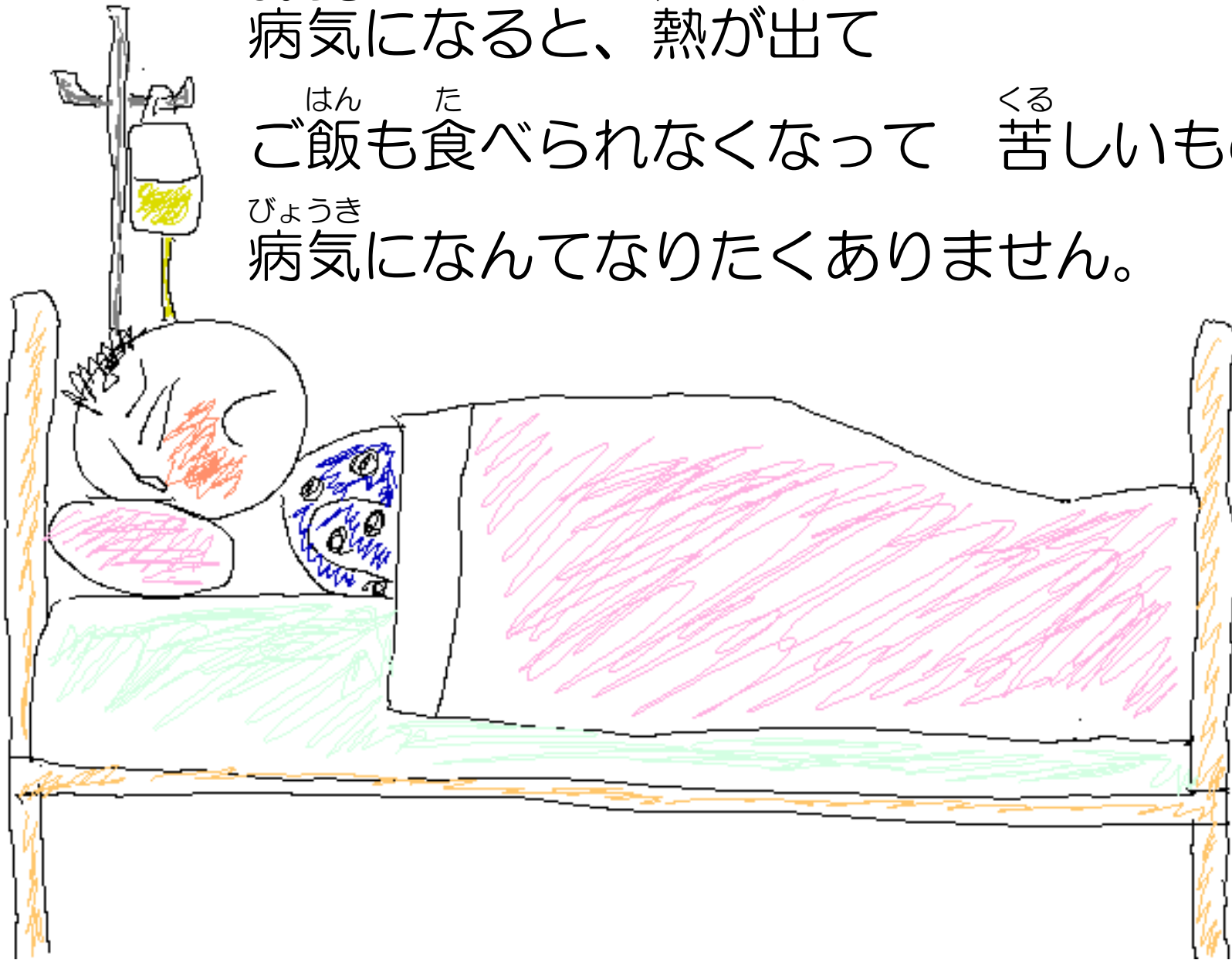
ときどき からだ よわ とき
でも時々、体が弱っている時には、
ばい菌に負けてしまうこともあります。



びょうき
病気になると、熱が出て

はん た くる
ご飯も食べられなくなって 苦しいものです。

びょうき
病気になんてなりたくありません。



ひとつ

^{ほうほう}
いい方法があります。

それは

^{よぼうちゅうしゃ}
予防注射をしておくことです。

^{ちゅうしゃ} ^{いた}
注射は痛いので、

あまりやりたくありませんが

^{よぼうちゅうしゃ} ^{つよ} ^{からだ}
予防注射をしておく、強い体になるので

^{きん} ^{からだ} ^か
ばい菌が体に入ってきて、勝つことができるのです。



そして、もし病^{びょうき}気になっても予^よ防^{ぼう}注^{ちゅう}射^{しゃ}をしてあると、
あまりひどくならなくて済みます。

はや ^なお
早^{はや}く治^{なお}るのです。

びょうき ^{おも}
病^{びょうき}気^{おも}が重^{おも}くなると何^{なん}日^{にち}も苦^{くる}しくて、

ちゅうしゃ ^{なんかい}
注^{ちゅう}射^{しゃ}を何^{なん}回^{かい}もすることになるかもしれませんが、

よぼうちゅうしゃ ^{いっかいいた}
予^よ防^{ぼう}注^{ちゅう}射^{しゃ}は一回^{いっかい}痛^{いた}いだけです。



だから、ぼくは

よぼうちゅうしゃ

予防注射をしておこう

おも
と思います。